

35歳～69歳女性  
再就職事情、仕事・働くことへの意識 調査

2018年6月

**【調査目的】** 少子高齢化による労働力不足が進み、女性労働力活用の必要性が言われている中、出産、子育てなどの事情でいったん仕事を辞めた女性の再就職事情と、現在働いている女性の仕事観、働き続ける意識などを、アラウンド40、アラウンド50世代を中心に調査。

**【実施日時】** 2018年5月22日～31日

**【調査対象】** 読者組織「リビングパートナー」 35歳～69歳の仕事を持っている女性へのWeb調査  
集計数：367

35歳～39歳：26	40歳～44歳：51	45歳～49歳：74	50歳～54歳：99
55歳～59歳：63	60歳～64歳：40	65歳～69歳：14	

※各データは小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある

Q. 社会人になってからのあなたの働き方は次のどちらにあてはまりますか？

- ◆ 学校を卒業後、ずっと働き続けている（転職などの事情で1年未満の失業期間は除きます）
- ◆ 学校を卒業後、働いたが結婚・出産他の事情でいったん、長期間仕事を辞めて、再び働き始めた（途中、何度か仕事を辞めたり、働いたりしてきたことも含みます）

◆ **いったん長期間仕事を辞めて、再び働き始めた人へ**

Q. 再び働き始めたのは、何歳の時ですか？

Q. 再び働き始めた時の、子ども（末子）の学齢を教えてください。

Q. 再び働き始めた理由は何ですか？

Q. 再び働き始めた時、働いていなかったブランクはどのくらいの期間でしたか？

Q. 再び働き始めた時、どのように仕事を探しましたか？

Q. 再び働き始めた時の最初の職種は何でしたか？

Q. 再び働き始めようと仕事を探した際、苦労したことや努力したこと（FA）

Q. 再び働き始めた時、苦労したこと・大変だったこと

Q. 再び働き始めて良かったこと

◆ **全員対象～現在の働き方から将来の展望**

Q. 現在のあなたの働き方を教えてください。

Q. パートタイム勤務者対象 1週間の平均労働時間はどのくらいですか？

Q. 現在、複数の仕事を掛け持ちしていますか？

Q. 職種は何ですか？

Q. 仕事内容についての満足度と、やや不満・不満の場合はその理由

Q. 雇用形態についての満足度と、やや不満・不満の場合はその理由

Q. 労働時間についての満足度と、やや不満・不満の場合はその理由

Q. 待遇についての満足度と、やや不満・不満の場合はその理由

Q. 職場環境についての満足度と、やや不満・不満の場合はその理由

Q. 現在の仕事の定年制度はどのようになっていますか？

Q. 定年制度があるがまだ定年にはなっていない人に定年についてどのように考えていますか？

Q. なんらかの形で定年後も仕事を続けたい人に定年後も働き続けるために準備していることはありますか？

Q. 定年後も仕事を続けている人に定年後も働き続けるために準備したことはありますか？

Q. 現在の仕事に限らず、何歳まで働きたいと思いますか？

## 35歳～69歳女性の再就職事情と仕事・働くことについての意識

### 〈再就職事情〉

#### ■ いったん長期間仕事をやめていたが、再び働き始めた年齢〈6P〉

40～44歳は、約10年前の30代前半と今現在の40代前半に、再就職ピークがおとずれる。アラフィフ世代は30代前半の再就職率が3割台。

50代後半以上は、下の世代に比べて、仕事を再開した時期が遅い傾向がある。

n数が少ないので参考値だが、35～39歳は20代後半に再就職が43.9%と半数近い。若い世代ほど、仕事の再開時期が早まっている傾向にある。

#### ■ 再び働き始めたときの末子の学齢・働いていなかったブランクの期間〈7～8P〉

35～39歳（n数が少ないため参考値）は仕事を再開した年齢が若いこともあり、末子が未就学が92.9%にものぼる。40～44歳でも未就学は66.7%。

40代後半以上は、末子が小学生になってからが4割台後半と未就学を上回るが、同じ小学生でも高学年より低学年の時の方が多い。

60代以外は、末子が、中学・高校と成長してからのの方が仕事再開率は低く、若い世代ほど、子どもが小さいうちから仕事を再開している。

40歳以上の世代では、仕事再開時の年齢が31～35歳がピークということもあり、ブランク期間が5年を超える層が増えてくる。

50～54歳で、ブランク期間「5年以上～10年未満」と「10年以上～15年未満」が同率に近くなるなど、年代があがるにつれ仕事再開までにブランクが長期間になる傾向にある。

#### ■ 再び働き始めた理由・仕事探し的手段・職種〈9～12P〉

再び働き始めた理由は30代後半は「生活費」、40代前半は「子どもの教育費」がトップ。40代後半以降は「自分のために使えるお金を稼ぐため」がトップになるが、働き始めた年代はいずれも30代が多いので、現在の働く目的として選択肢を選んでいる可能性が高いと思われる。

35～39歳は、n数が少数のため参考値だが、最もいろいろな手段を使って仕事を探しており、40代前半も複数の手段をバランスよく利用しているといえるが、全般的に「求人サイト」よりも「求人誌・紙」の方がよく利用されている。

職種は全年代共通で、「事務」が3割程度。40代後半の、「飲食・フード」が21.4%と、他の年代と比較して高くなっている。

#### ■ 仕事探しの際、苦労したことや努力したこと（FA） 働き始めて苦労したこと・良かったこと〈13～14P〉

働いていなかったブランクの期間別に見ると、10年未満は「子どもが幼稚園に行っている間にできる仕事探し」「夏休みなど子どもの長期休みへの対応」などの声が多い。10年以上になると「子育て、家事との両立」に加え、「PC他スキルの遅れ」「慣れるのに時間がかかる」「体力の心配」などの声が見られるようになる。

苦労したこと・大変だったことのトップは「身体的な疲れ」で56.2%。「家事・育児との両立」も49.0%とほぼ半数。

一方、良かったことは、「お小遣いが増えた」「家計が助かった」という金銭面だけでなく、「生活にハリができた」「人間関係が広がった」も5割前後と高くなっている。

## 〈現在の仕事と将来、働き続けることへの意識〉

### ■ 現在の働き方・職種 〈15～17P〉

現在の働き方は「パートタイム勤務」が58.3%。仕事歴別で見ると、仕事を継続している人は「フルタイム勤務」が44.4%と、仕事再開組よりも30ポイント以上高く、**再就職組はパートタイム勤務についている人が多い**ことが分かる。パートタイム勤務者の6割は週平均の労働時間が20時間未満。年代別では、40代から「パートタイム勤務」が5割を超えるようになり、60代は、「自営・フリーランス」が1/3を超える。パートタイム勤務、自営・フリーランスは、3割超が複数の仕事を掛け持ちしている。

現在の職種は、フルタイム勤務は6割が「事務」。パートタイム勤務では「医療・介護・福祉」が15.4%と、やや多くなっている。

### ■ 仕事内容・雇用形態・労働時間・待遇・職場環境への満足度、不満の理由（FA） 〈18～22P〉

「雇用形態」以外の4項目で、**パートタイム勤務者の満足度がフルタイム勤務者を上回っている**。家庭や自身の生活とのバランスをとりながら、自分らしい働き方に満足しているといえる。一方、数は少ないものの「やや不満、不満」のFAでは、**ブラックな雇用状況・労働状況の実態も挙がっている**。

「仕事内容」は、全体の約8割が「満足・まあ、満足」している。「やや不満・不満」は、フルタイム勤務者の方がパートタイム勤務者よりも約4ポイント多い。

「雇用形態」についての「やや不満・不満」は、パートタイム勤務者の方が、フルタイム勤務者よりも多い。

「労働時間」については、85%以上が「満足・まあ、満足」と回答。「やや不満・不満」は、パートタイム勤務者はフルタイム勤務者に比べやや低いものの、具体的な理由のFAは数多く挙がっており、その半数が「**もう少し長時間働きたい**」と回答。夫の扶養範囲内に収めたいという働く側の都合もあるが、会社側の都合で労働時間を制限されているという声も。

「待遇」については、フルタイム勤務者の「やや不満」が25.9%と1/4にのぼっている（パートタイム勤務者の6ポイント高）。昇給がない、時給があがらない、有給休暇が取れないなどの不満が多い。

「職場環境」は全体の84.1%が、「満足・まあ、満足」。フルタイム勤務者の「やや不満」がパートタイム勤務者を10ポイント近く上回っている。

### ■ 定年制度の有無・定年についての考え方 〈23P〉

定年制度の有無は、パートタイム勤務者の1/3近くが「分からない」と回答。

定年制度がありまだ定年前の人の33.1%（フルタイム勤務者は37.5%）が、「定年後、再雇用制度を使って今の仕事を続けたい」。定年前、あるいは定年で仕事・働くことをやめたい人は27.2%。**7割以上が、定年後も何らかの形で働きたいと考えている**。

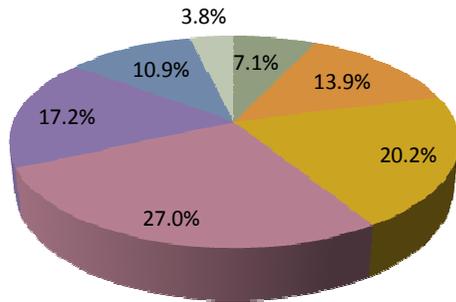
### ■ 何歳まで働きたいか 〈25P〉

「65歳まで」が30.2%とトップだが、「70歳まで」も25.9%と1/4を超える。特に、パートタイム勤務者は26.6%、自営・フリーランスは31.9%と多くっており、**希望就労年齢は上がっている**。

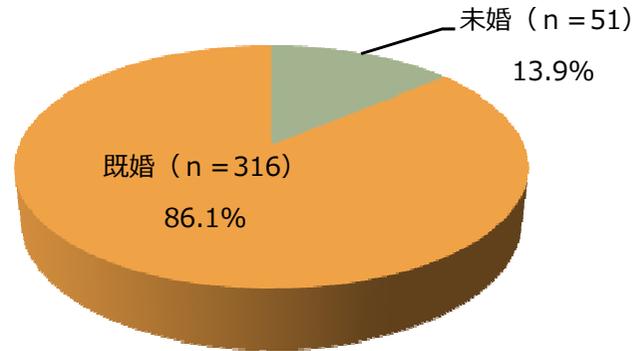
年代別では、全般的に年代があがるにつれ希望就労年齢は上がっていくが、45～49歳だけ、その動きに逆行する傾向。体調の変化、疲れを感じやすくなるなど、ゆらいでいる世代の特徴か。

## 〈年代〉

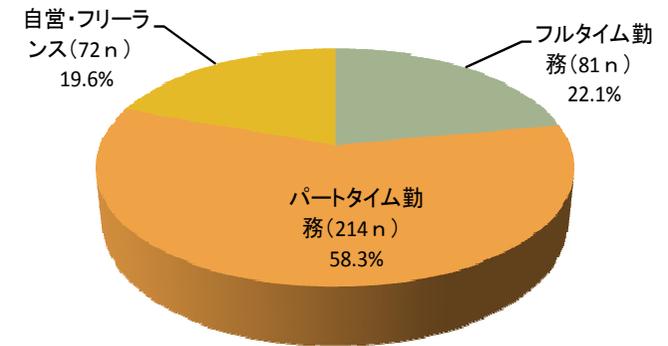
- 35～39歳 (n=26)
- 40～44歳 (n=51)
- 45～49歳 (n=74)
- 50～54歳 (n=99)
- 55～59歳 (n=63)
- 60～64歳 (n=40)
- 65～69歳 (n=14)



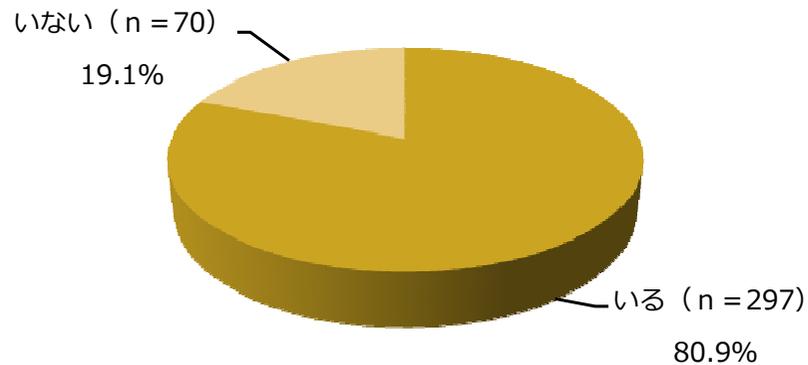
## 〈未既婚〉



## 〈現在の働き方〉

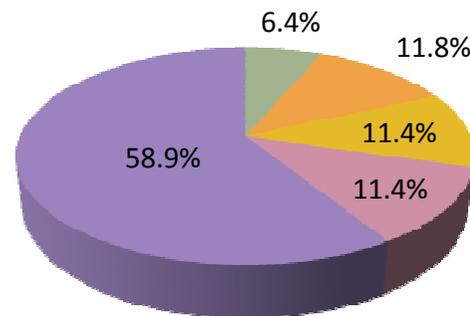


## 〈子どもの有無〉



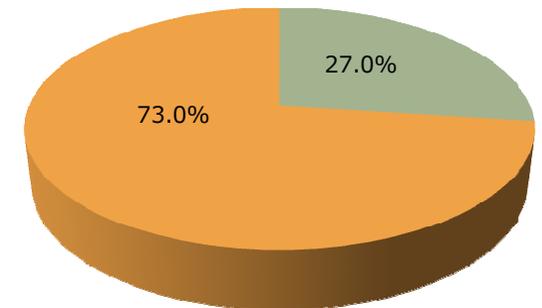
## 〈末子の学齢 子どもがいる297n〉

- 未就学 (n=19)
- 小学生 (n=35)
- 中学生 (n=34)
- 高校生 (n=34)
- 高校生より上 (n=175)



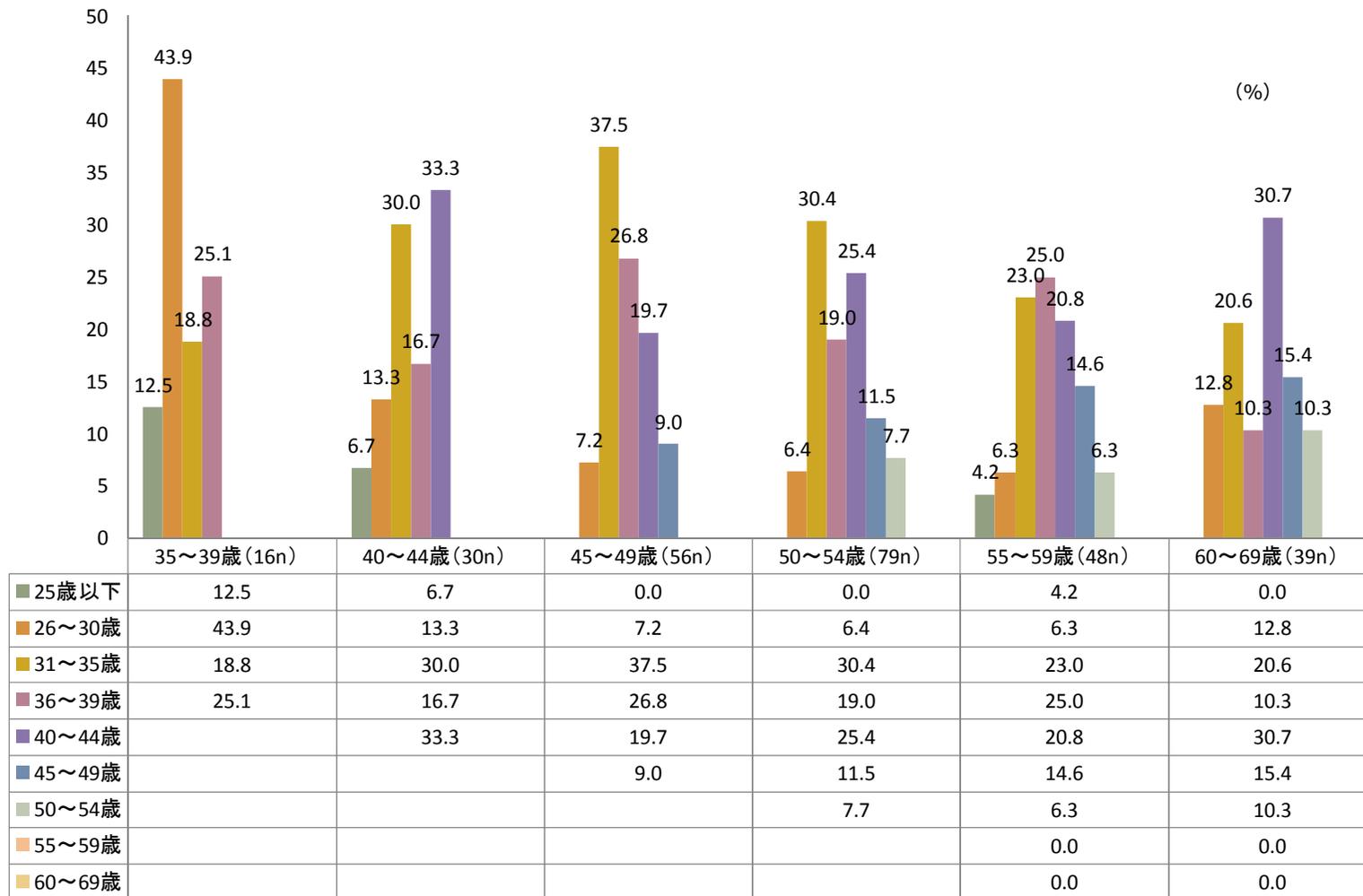
## 〈今までの働き方〉

- 学校を卒業後、ずっと働き続けている (99n)
- 結婚・出産他の事情で長期間仕事を辞めて、再び働き始めた (268n)



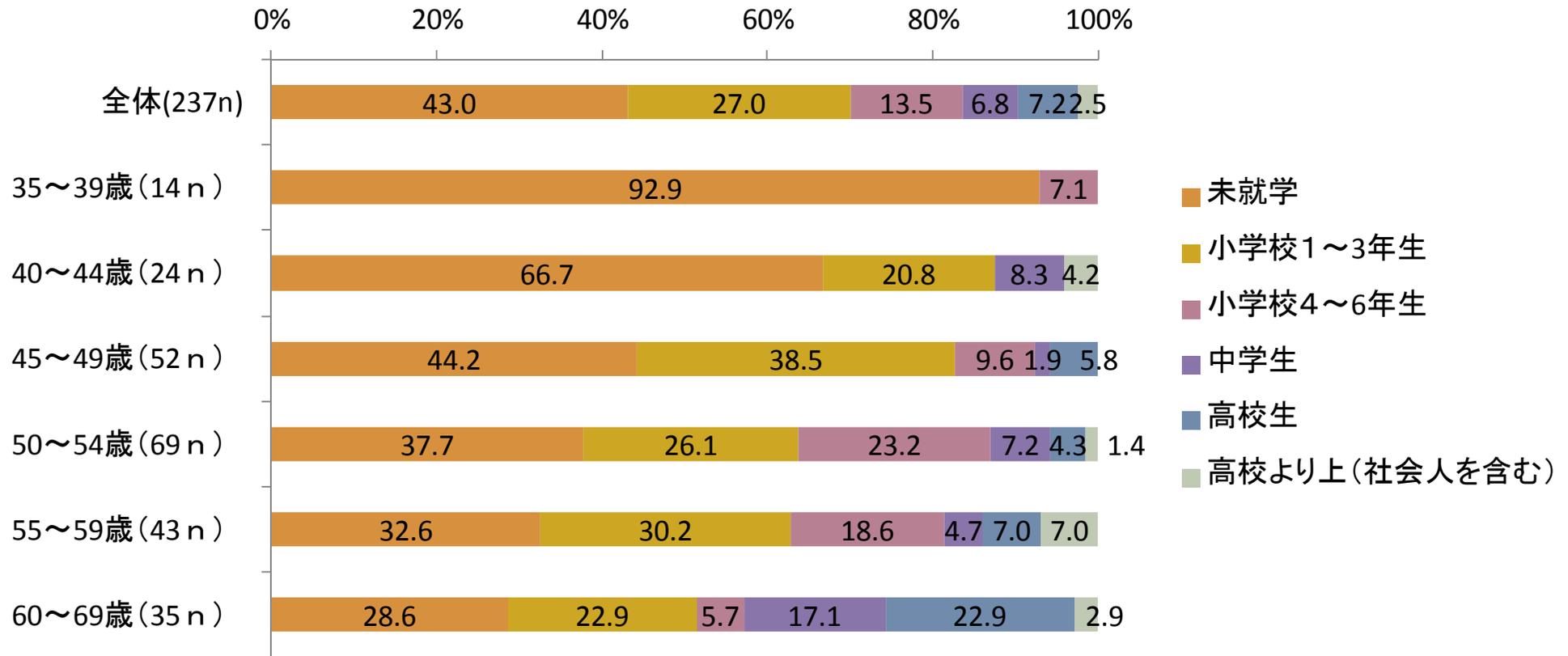
## Q. 再び働き始めた年齢

年代別に、再び働き始めたのはいつかを見ると、35～39歳（n数が少ないため参考値）は、20代後半が43.9%と半数近い。  
 40～44歳は、約10年前の30代前半と今現在の40代前半に、再就職ピークが。アラフィフ世代は30代前半の再就職率が3割台。  
 50代後半以上は、下の世代に比較すると仕事を再開した時期が遅い傾向がある。



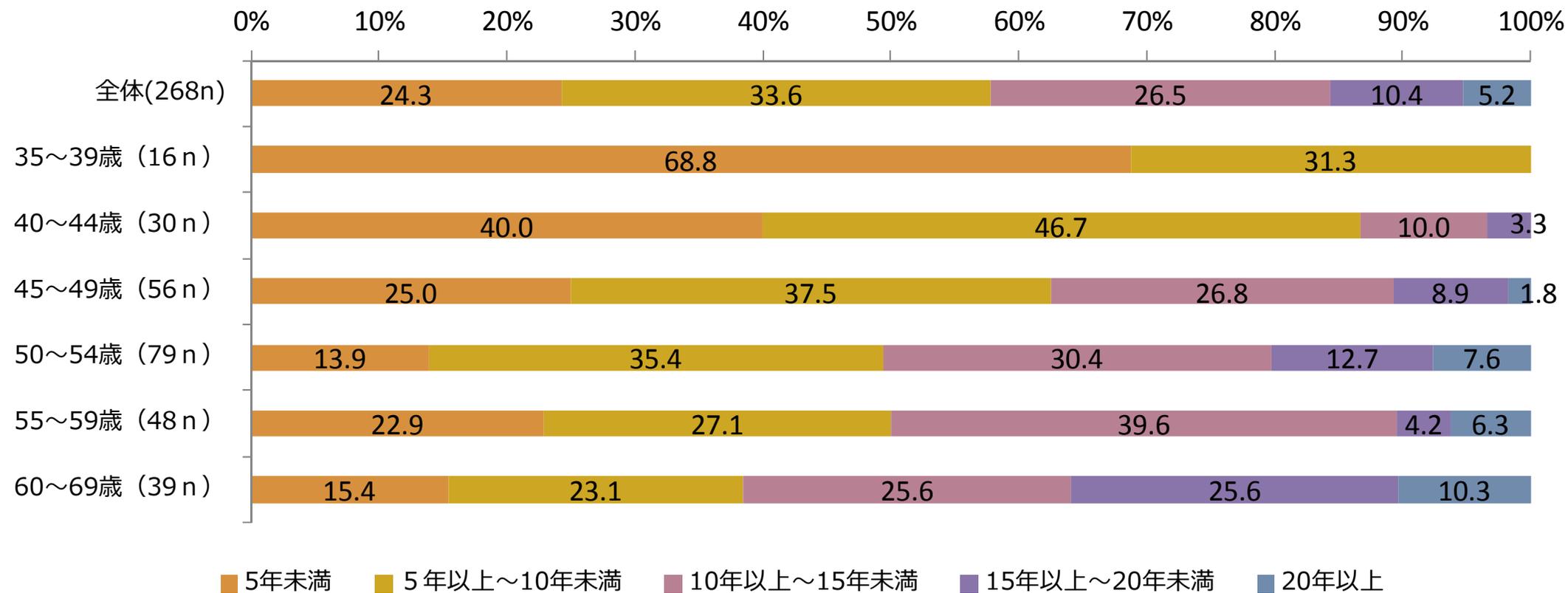
Q. 再び働き始めたときの末子の学齢 (子どもがいる237人)

35～39歳 (n数が少ないため参考値) は仕事を再開した年齢が若いこともあり、末子が未就学が92.9%にもものぼる。40～44歳でも未就学は66.7%。  
 40代後半以上は、末子が小学生になってからが4割台後半と未就学を上回るが、同じ小学生でも高学年より低学年の時の方が多い。  
 また、60代以外は、末子が、中学・高校と成長してからの方が仕事再開率は低い。



## Q. 再び働き始めた時、働いていなかったブランクの期間

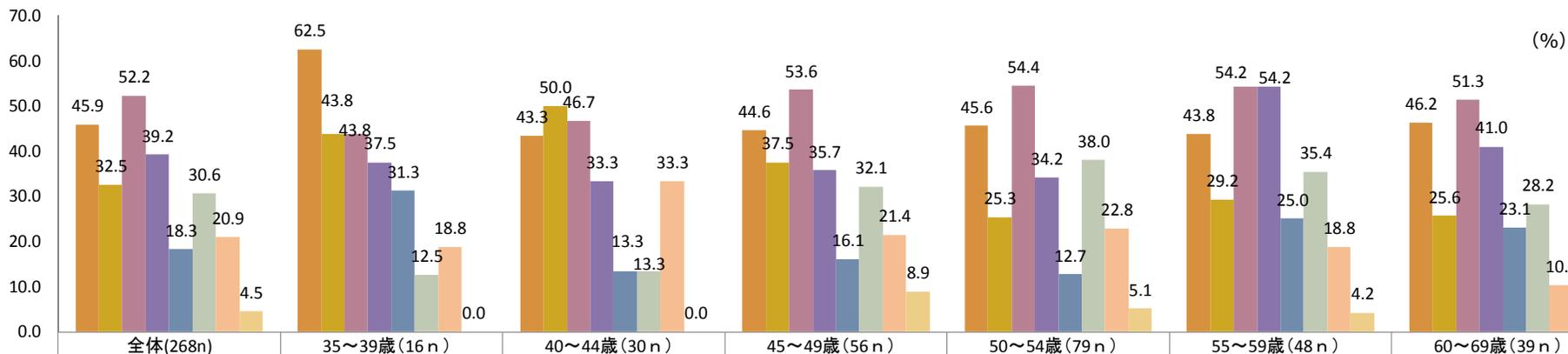
40歳以上は、仕事再開時の年齢が31～35歳がピークということもあり、ブランク期間が5年を超える層が増えてくる。  
 50～54歳で、ブランク期間「5年以上～10年未満」と「10年以上～15年未満」が同率に近くなるなど、年代があがるにつれ仕事再開までにブランクが長期間にわたる傾向にある。



## Q. 再び働き始めた理由

30代後半は「生活費」、40代前半は「子どもの教育費」がトップ。

40代後半からは「自分のために使えるお金を稼ぐため」がトップになるが、働き始めた年代はいずれも30代が多いので、現在の働く目的として選択肢を選んでいる可能性が高いと思われる。



生活費のため	45.9	62.5	43.3	44.6	45.6	43.8	46.2
子どもの教育費のため	32.5	43.8	50.0	37.5	25.3	29.2	25.6
自分のために使えるお金を稼ぐため	52.2	43.8	46.7	53.6	54.4	54.2	51.3
社会との繋がりを持ちたかったから	39.2	37.5	33.3	35.7	34.2	54.2	41.0
自己実現のため	18.3	31.3	13.3	16.1	12.7	25.0	23.1
子どもが成長し、手が離れたから	30.6	12.5	13.3	32.1	38.0	35.4	28.2
時間ができたのでなんとなく	20.9	18.8	33.3	21.4	22.8	18.8	10.3
その他	4.5	0.0	0.0	8.9	5.1	4.2	2.6
働き始めた年代トップ		26~30歳	40~44歳	31~35歳	31~35歳	36~39歳	40~44歳

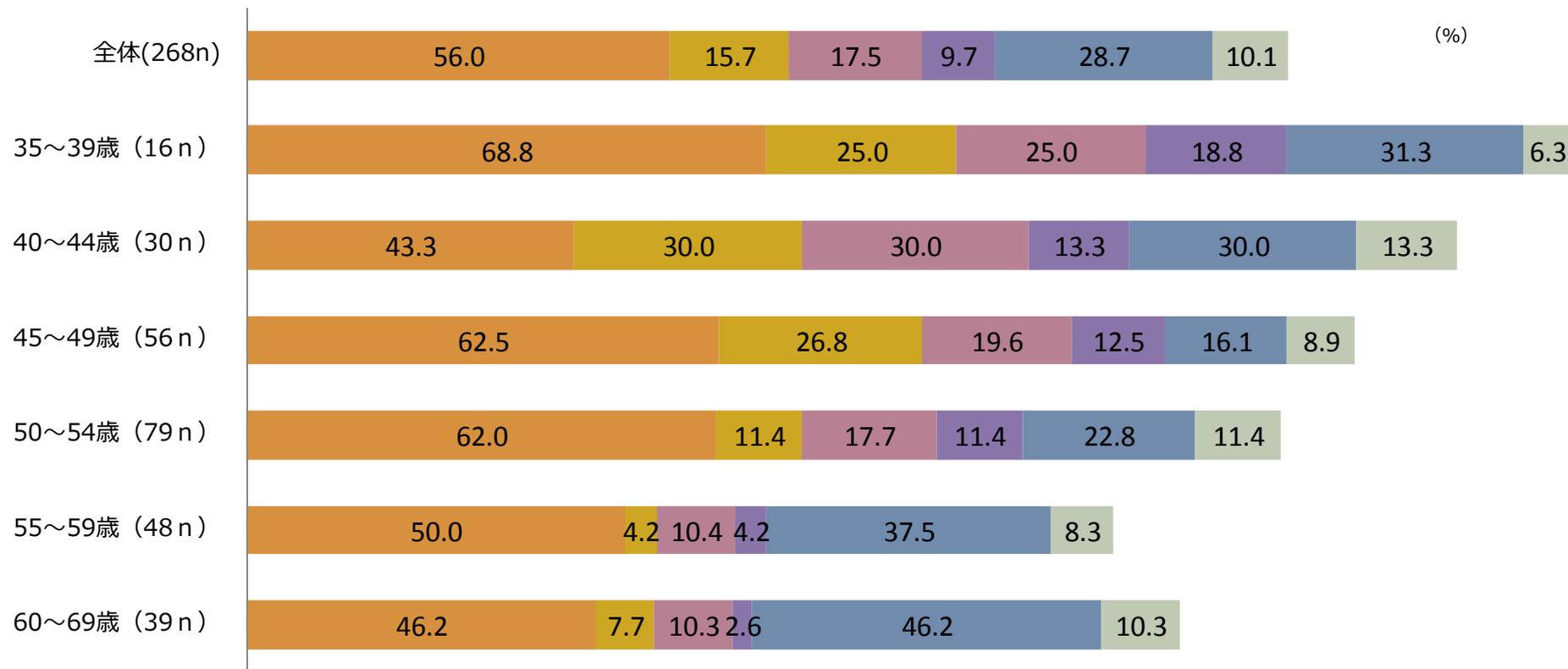
○ 全体より10ポイント以上高い

○ 全体より10ポイント以上低い

Q. 再び働き始めた時、どのように仕事を探したか（M A）

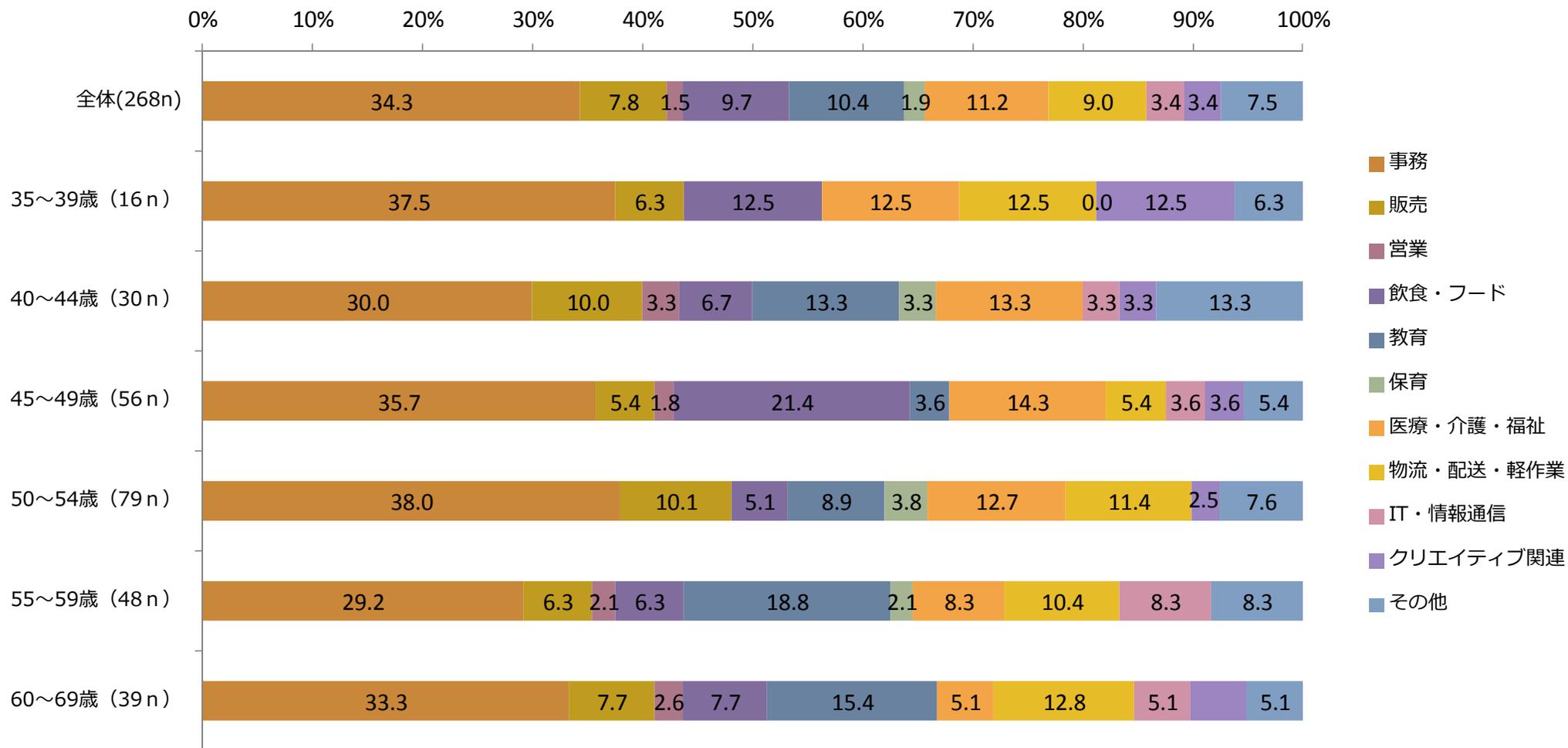
35～39歳は、n数が少数のため参考値だが、最もいろいろな手段を使って仕事を探している。  
 40代前半も、複数の手段をバランスよく利用しているといえるが、全般的には「求人サイト」よりも「求人誌・紙」の方がよく見られている。

■ 求人誌・紙を見た ■ 求人サイトを見た ■ ハローワークに行った ■ 派遣会社に登録した ■ 知人・親戚の紹介 ■ その他



## Q. 再び働き始めた時の最初の職種

全年代共通で、「事務」は3割程度。40代後半の、「飲食・フード」が21.4%と、他の年代と比較して高くなっている。



## Q. 再び働き始めようと仕事を探した際、苦労したことや努力したこと（FA抜粋）ブランク期間別

「ブランクの期間別に見ると、10年未満は「子どもが幼稚園に行っている間にできる仕事探し」「夏休みなど子どもの長期休みへの対応に苦労した」との声が多い。10年以上になると、「子育て、家事との両立」に加え、「PC他スキルの遅れ」「慣れるのに時間がかかる」「体力の心配」などの声が見られるようになる。

### 〈ブランク期間 5年～10年未満〉

現在の年齢	再び働き始めた時の年齢	再び働き始めた時の、未子の学齢	再び働き始めようと仕事を探した際、苦労したことや努力したこと
36	33歳	未就学	子どもが幼稚園に行ってる間の短時間しか勤務できないので時間に融通の利く仕事を探した
39	39歳	小学校4～6年生	子供の学校行事や病気になった時の看病などとの両立が大変
42	39歳	未就学	子供が幼稚園に通っている間の時間、夏休み等の長期休みは仕事も休みになる様な、職場をひたすら探しました。
43	32歳	未就学	扶養範囲内での仕事の中々見つからなかった
45	34歳	小学校1～3年生	子供が小学校1年生で放課後の預け先
49	40歳	小学校1～3年生	子どもが急に具合悪くなった時、子どもの長期休みの時に休める仕事を探したかったが、なかなか条件に合わなかった
49	33歳	小学校1～3年生	勤務時間帯や家の近くであることを優先に考えたため、希望通りの職種や給与の場所がなかなか見からなかった。
49	38歳	未就学	夏休みなど長期休暇の時の子供の預け先や、子供の具合が悪い時
50	32歳	未就学	子供が急に熱を出した時などに見てくれる人がいなかったもので、いつも不安ですごくストレスだった。子供がいる人はこれだから・・・と言われたくなくて気を張りすぎていた。あの時の自分には子供を優先に考えてよいんだよ、と言ってあげたいくらい。子供を迎えに行ってからご飯を作るのはとても気力や強い意志があるので朝早く起きて夕飯を作っていた。
45	42歳	未就学	パソコンが進化していて、書類を作成するソフトがバージョンアップしていて困りながらもなんとかできるようになった。
45	35歳	小学校1～3年生	仕事がなかなか覚えられず、苦労しました。
46	30歳	未就学	ブランクあり、会社員の方々と一緒に働くということで、温度差を感じた
48	38歳	未就学	資格を取るのに苦労した

### 〈ブランク期間 10年以上～15年未満〉

現在の年齢	再び働き始めた時の年齢	再び働き始めた時の、未子の学齢	再び働き始めようと仕事を探した際、苦労したことや努力したこと
41	38歳	未就学	以前はパソコン関係の仕事をしていましたが、10年以上のブランクがあったため、バージョンアップしてついていけないか不安だった。
44	38歳	未就学	仕事と家庭の両立ができるかどうか不安で、体力的にもかなりしんどかったです。
46	35歳	小学校4～6年生	生活のリズムの変化(食料品の買い物 夕食作り)に慣れるのに時間がかかった
47	36歳	小学校4～6年生	慣れるまで生活面でも仕事面でも時間配分が難しかった。
49	39歳	小学校1～3年生	パソコン教室に通い、ワードやエクセルを習った。ある程度知っていないと仕事で困ると思ったので。
57	45歳	小学校4～6年生	履歴書の内容をまとめるのが大変だった。また、通勤の服装などにも迷った。
59	38歳	小学校1～3年生	通信教育で資格を取った
45	33歳	小学校1～3年生	子供が学校に行っている間の、数時間だけ働きたかったのですが、短時間の求人は中々見当たらず、大変でした。
48	41歳	小学校1～3年生	子供が小学生だったので、学校で不在の時間だけ働きたかったが、夏休みなどの長期休みが、ネックだった。
51	35歳	小学校4～6年生	資格を取っての仕事始めだったが経験のないことへの戸惑いと子どもが小学生だったので夏休みなどの長期休みの時の子どもとの関わりが大変でした。
56	39歳	小学校1～3年生	子供のことを考えて仕事を選び慣れない仕事で苦労した。

### 〈ブランク期間 15年以上～20年未満〉

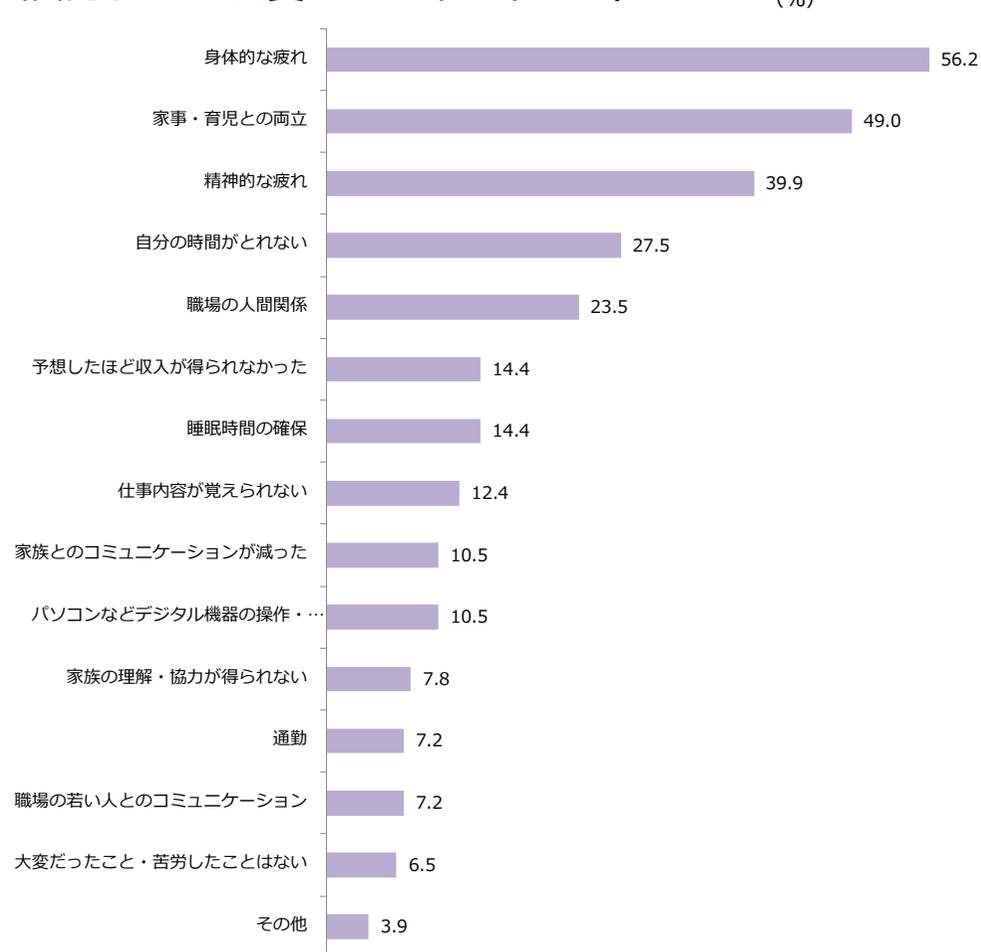
現在の年齢	再び働き始めた時の年齢	再び働き始めた時の、未子の学齢	再び働き始めようと仕事を探した際、苦労したことや努力したこと
46	46歳	高校生	体力のなさ 家庭とのやりくり
48	43歳	子どもなし	情報や技術のギャップ。年齢相応に習得するにも時間がか
48	38歳	小学校4～6年生	もっと早くから働いていればよかった 仕事を辞めなければよかった
51	39歳	小学校4～6年生	家事との両立というか、時間の使い方
53	35歳	未就学	1日の中で、ゆったり家事をしていたので、家事をてきぱきする事と外に出る事に対する体力的な不安がありました。働き出してから、徐々に慣らしていきました。
60	40歳	高校生	家事との両立 体調管理
61	40歳	小学校1～3年生	通勤電車の中が大変だった 職場の人間関係に苦労しました

## Q. 再び働き始めた時、苦労したこと・大変だったこと / 良かったこと

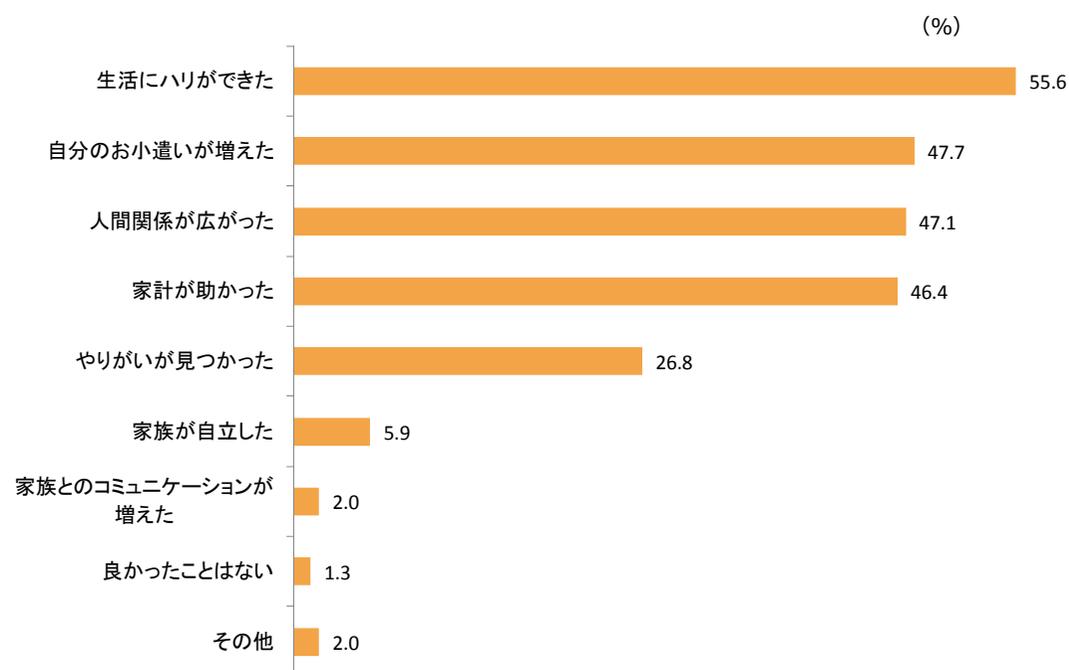
5年以上のブランク期間の後、働き始めた人に、仕事を始めてから苦労したこと・大変だったこと、仕事を始めて良かったことを聞いた。

苦労したこと・大変だったことのトップは「身体的な疲れ」で56.2%。「家事・育児との両立」も49.0%とほぼ半数。  
一方、良かったことは、下右グラフの通り。「お小遣いが増えた」「家計が助かった」という金銭面だけでなく、「生活にハリができた」「人間関係が広がった」も5割前後と高くなっている。

〈苦労したこと・大変だったこと〉 (153n)



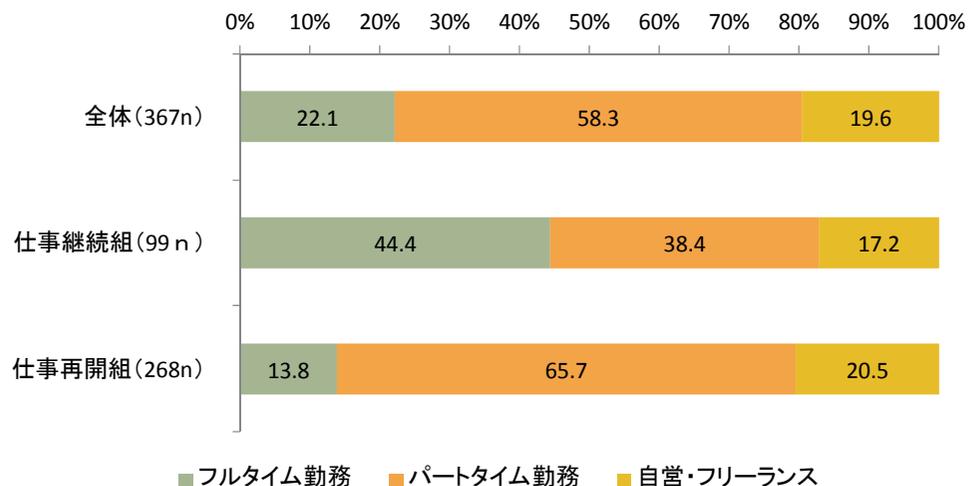
〈良かったこと〉 (153n)



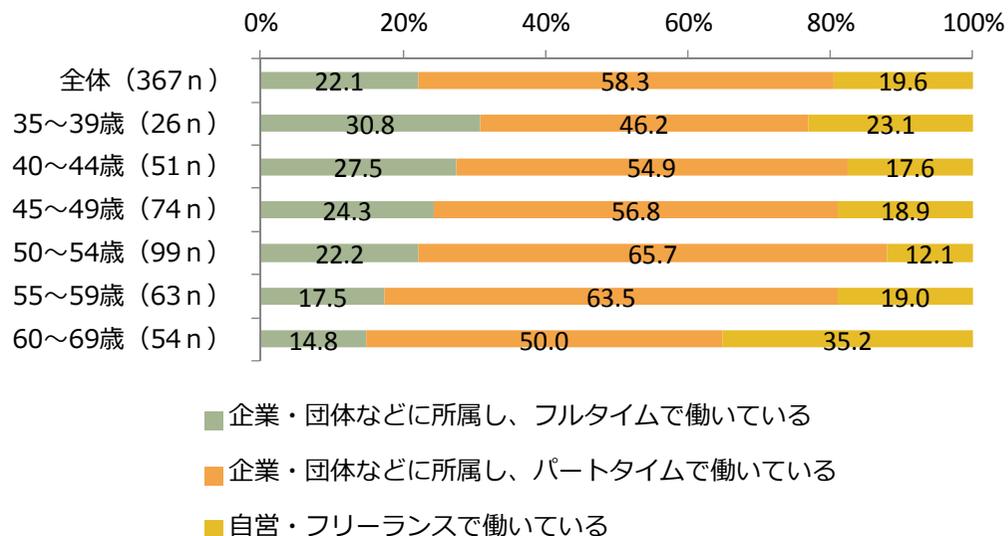
## Q. 現在の働き方

全員（367 n）に聞いた、現在の働き方は「パートタイム勤務」が58.3%。  
 仕事歴別で見ると、仕事を継続している人は「フルタイム勤務」が44.4%と、仕事再開組よりも30ポイント以上高い。  
 年代別では、40代から「パートタイム勤務」が5割を超えるようになる。60代は、「自営・フリーランス」が1/3を超える。

〈仕事歴別〉



〈年代別〉



〈仕事継続組×年代別〉

	企業・団体などに所属し、フルタイム	企業・団体などに所属し、パートタイム	自営・フリーランス
全体 (99n)	44.4	38.4	17.2
35～39歳 (10n)	70.0	20.0	10.0
40～44歳 (21n)	47.6	42.9	9.5
45～49歳 (18n)	44.4	38.9	16.7
50～54歳 (20n)	45.0	35.0	20.0
55～59歳 (15n)	46.7	40.0	13.3
60～64歳 (10n)	20.0	40.0	40.0
65～69歳 (5n)	20.0	60.0	20.0

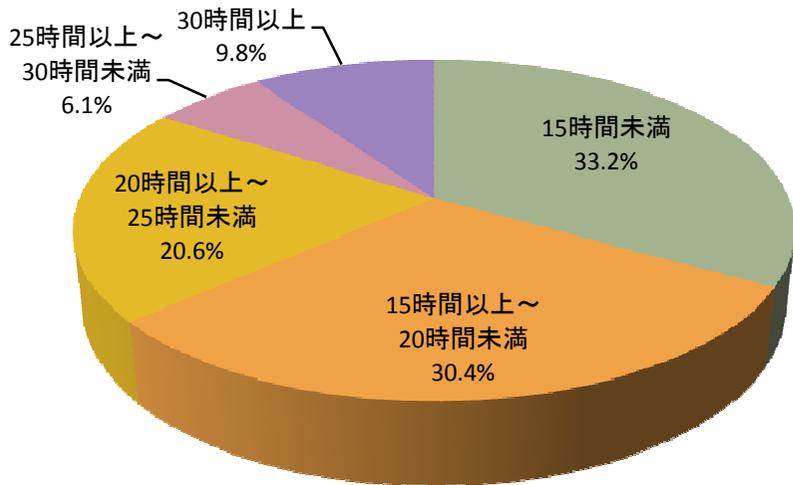
〈仕事再開組×年代別〉

	企業・団体などに所属し、フルタイム	企業・団体などに所属し、パートタイム	自営・フリーランス
全体 (268n)	13.8	65.7	20.5
35～39歳 (16n)	6.3	62.5	31.3
40～44歳 (30n)	13.3	63.3	23.3
45～49歳 (56n)	17.9	62.5	19.6
50～54歳 (79n)	16.5	73.4	10.1
55～59歳 (48n)	8.3	70.8	20.8
60～64歳 (30n)	10.0	60.0	30.0
65～69歳 (9n)	22.2	22.2	55.6

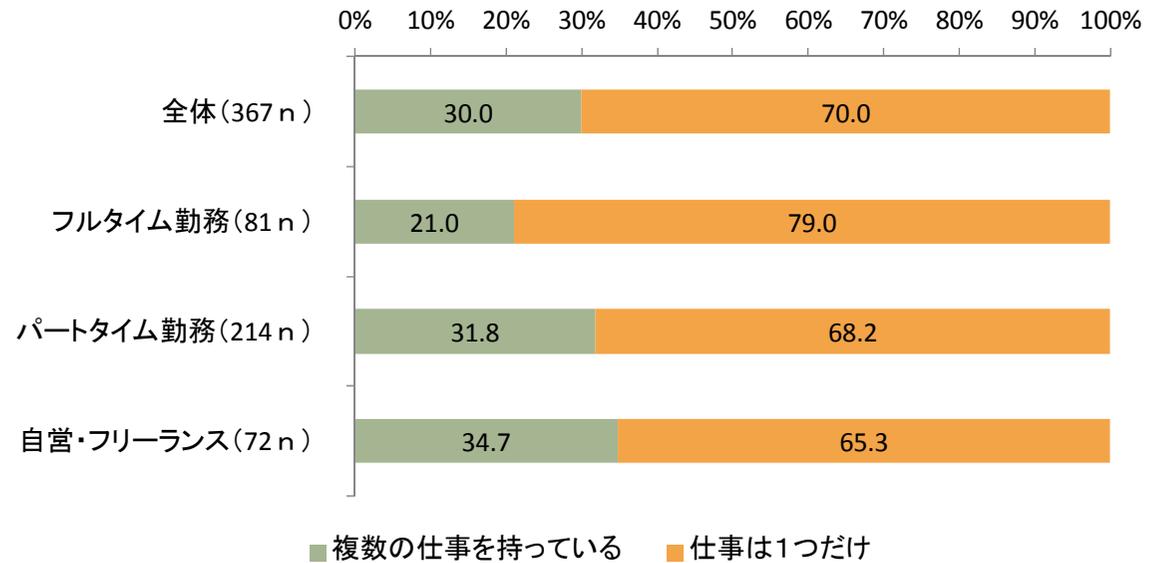
Q. 現在の働き方

パートタイム勤務、自営・フリーランスは、3割超が複数の仕事を掛け持ちしている。

〈パートタイム勤務者の平均労働時間／週〉

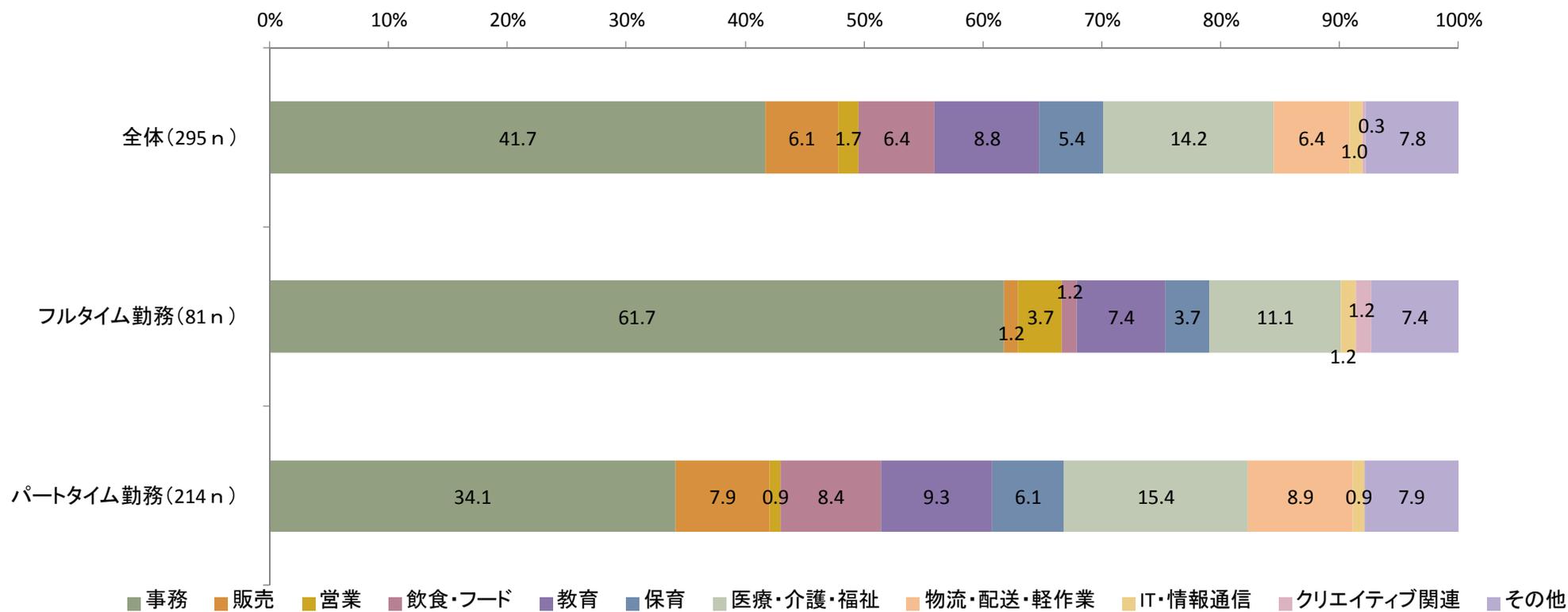


〈複数の仕事を持っているか〉



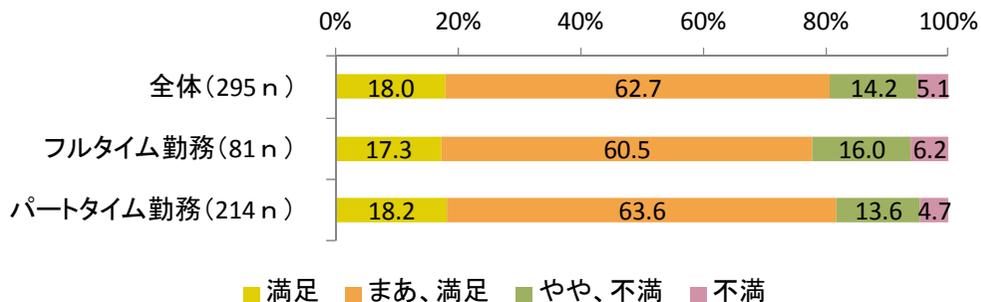
Q. 現在の職種（自営・フリーランスを除く）

フルタイム勤務は6割が「事務」。パートタイム勤務では「医療・介護・福祉」が15.4%と、やや多くなっている。



## Q. 「仕事内容」についての満足度／やや不満・不満の理由 FA抜粋（自営・フリーランスを除く）

「仕事内容」について、約8割が満足・まあ、満足している。  
 やや不満・不満は、フルタイム勤務者の方がパートタイム勤務者よりも約4ポイント多いが、具体的な理由のFAはパートタイム勤務者からの方が数多く挙がっている。業務量の多さ、忙しさなどが散見される。



### 〈フルタイム勤務〉

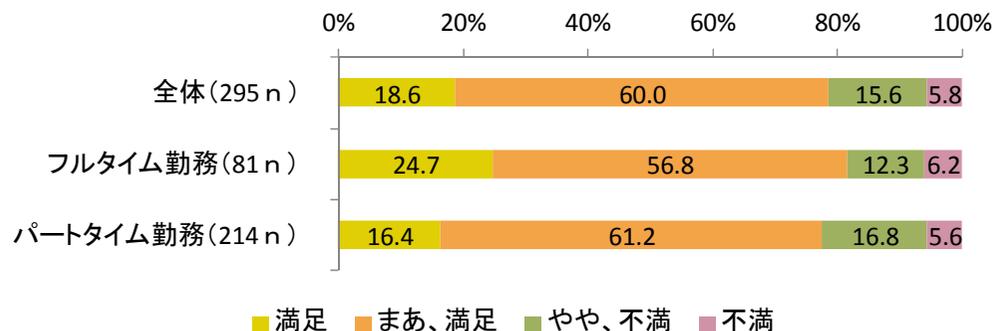
年齢	業種	やや不満・不満の理由
47	生産・修理	辞める人が多く仕事量が増え過ぎ
48	飲食・フード	仕事内容とお給料が比例していない
54	医療・介護・福祉	給料が安い
62	教育	そろそろ体力的に厳しいから

### 〈パートタイム勤務〉

年齢	業種	やや不満・不満の理由
48	医療・介護・福祉	責任感への重圧が多々ある
61	販売	人員不足の為 シフトがキツイ時がある
41	IT・情報通信	拘束時間が長いわりに報酬が少ない
51	事務	一日中バタバタして休憩時間を削って何とか事務をこなしても上司に罵倒され、客の都合によるやむを得ない残業も上司の判断で一切つけてもらえない
54	教育	最近業況がよくなく、仕事が減り、もともと少なかった収入がますます減った
62	事務	上司が変わって仕事のやり方がだいぶ変わったから
38	医療・介護・福祉	人間関係が悪しく、採用されても短期間で退職する人が後を絶たない
58	医療・介護・福祉	体力面でしんどいと思います
53	事務	達成感がない
53	物流・配送・軽作業	年と共に体力が落ちているので、仕事量を落としたいと思って少し現状では、不満です。
38	事務	仕事が単調だったり、難しかったり、時間に追われる
42	飲食・フード	ずっと立ちっぱなしで、腰や首を傷めてる
52	事務	強制的にやらなくてはいけないから
58	事務	最初は専門的な事務作業でしたが、人手が足りずいつの間にか雑用も行うようになっていきます。自分たちで庶務課と言って笑っています
54	販売	転勤が定期的にある
44	保育	勤務時間外で要求される仕事が多すぎて困る
54	物流・配送・軽作業	慢性的な人手不足で忙しい事
54	教育	自分の意見を述べる場所がない 上司からの指示がコロコロ変わる
39	飲食・フード	大奥さんの何から何までやらされる。買い物、縫い物、町会の事
52	飲食・フード	仕事の量に格差がある。
46	飲食・フード	やらねばならないことが多すぎてサービス早出をしなきゃならない

## Q. 「雇用形態」についての満足度／やや不満・不満の理由（自営・フリーランスを除く）

「雇用形態」についてのやや不満・不満は、パートタイム勤務者の方が、フルタイム勤務者よりも多い。  
フルタイム勤務者からは、具体的な不満理由のFAは挙がらなかった。

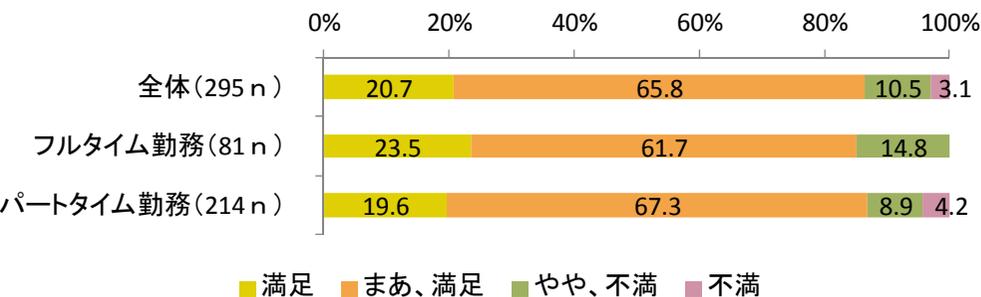


### 〈パートタイム勤務〉

年齢	業種	やや不満・不満の理由
57	不動産	何も保障がない
51	事務	契約書には「雇用保険加入」としているくせに上司の判断で週の勤務日数を制限されているため加入のための就業時間が足りず雇用保険未加入であること。
55	教育	契約書を交わしているのに勝手に変更を求められること
51	物流・配送・軽作業	保障がない事
59	事務	この年齢で時給は悪くないが、1カ月間の上限労働時間があり、収入全体としては足りない。
61	事務	いつまで雇用してもらえるか不明だから
38	販売	雇用保険加入の条件が変更になった影響で、勤務時間が減らされるようになった
53	物流・配送・軽作業	長くいると新しい人より、扱いが雑になり無理なことまでできると思われてやらされるので、やや不満です。
51	事務	不安定だから
60	事務	週3～4日の勤務を、希望しているが雇用保険の関係で週2～3日の勤務になっている。
61	教育	雇用時間が短い。
51	物流・配送・軽作業	有給が取得できない。最初の雇用契約よりシフトが多い。（契約時は土日祝日は休みだったが、ほかのパートが辞めたりして人数が少なくなったため、出勤することになってしまった）
39	飲食・フード	最低賃金もらってない。雇用保険も入っていないようで仕事中の怪我も何もない。パートなのに有給無し。
55	教育	非常勤講師なので、次の年の契約が安定していない。

Q. 「労働時間」についての満足度／やや不満・不満の理由（自営・フリーランスを除く）

「労働時間」については、85%以上が満足・まあ、満足と回答。  
 やや不満・不満は、パートタイム勤務者はフルタイム勤務者に比べやや低いものの、具体的な理由のFAは多く挙がっている。  
 その内容で多いのは、「もう少し長時間働きたい」か、その逆の「業務過多」。夫の扶養範囲内に収めたいという働く側の都合もあるが、会社側の都合で労働時間を制限されているという声も。



〈フルタイム勤務〉

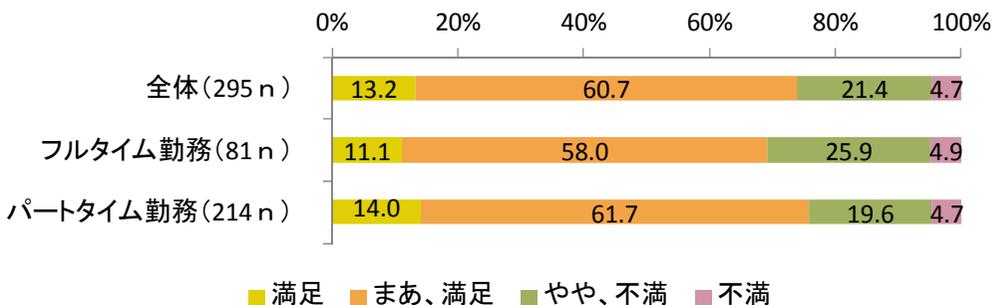
年齢	業種	やや不満・不満の理由
60	医療・介護・福祉	就業時間が長い
62	教育	週に一日は休みしたい
43	医療・介護・福祉	医療法人化したことにより、今までもらっていた休日の日数が大幅に減ったから

〈パートタイム勤務〉

年齢	業種	やや不満・不満の理由
48	医療・介護・福祉	繁忙期は帰宅時間が読めない
49	教育	時間が短い
57	不動産	もっと長時間働きたい
55	教育	もっと働きたい
58	事務	もう少し働きたい
48	教育	出勤時には、厳しいが、退勤時間は、ルーズ。出勤時間が開館時間で、退勤時間が閉館時間なのもおかしい。準備と片付けに前後10分ずつは、必要なのに。昼休み1時間は、時給が発生しないのに、仕事は有る。
38	医療・介護・福祉	持っている仕事量が、パートの勤務内で消化できる量ではなく、残業せざるを得ない
59	事務	この年で働くには無理のない労働時間だが、もう少し働きたい。
45	販売	時間で働いているのにタイムカードは、手書きで改ざんさせられる
55	教育	時間が少ない
53	医療・介護・福祉	年月の経過で時給が高くなっている人は、働く日を増やしてもらえず、新たに雇用した新人を使っている
38	販売	雇用保険加入の条件が変更になった影響で、勤務時間が減らされるようになった
51	事務	定時で終われない
52	事務	休憩が取りにくい。
42	飲食・フード	もう少し長い時間働きたい
61	教育	もう少し雇用時間を増やしてほしい。
61	飲食・フード	残業をそのまま付けられない事
39	飲食・フード	一日平均、7時間働いていても休憩が10分もなく、15分引かれている。
53	保育	もう少し働ける時間数を増やしてほしい
55	教育	夫の扶養に入ることにしたため、働ける時間が少ない

## Q. 「待遇」についての満足度／やや不満・不満の理由（自営・フリーランスを除く）

「待遇」については、フルタイム勤務者の「やや、不満」が25.9%と1/4にのぼっている。  
昇給がない、時給が上がらない、有給休暇が取れないなどの不満が多い。



### 〈フルタイム勤務〉

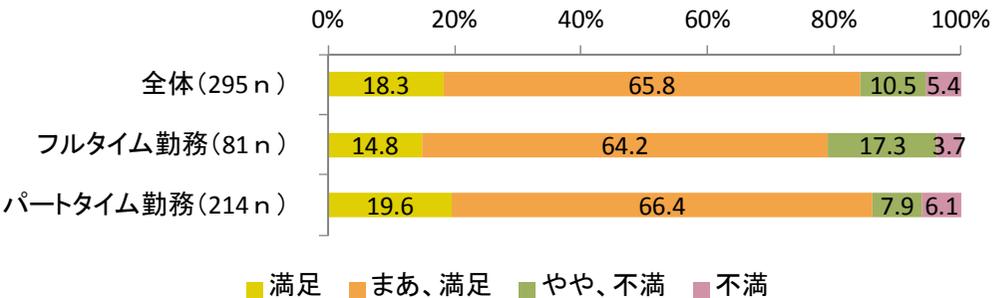
年齢	業種	やや不満・不満の理由
47	サービス	ボーナスをもらうには仕事内容とはあまり関係のない試験を受けて受からなければもらえない。もらえても寸志より気持ち多いくらい。
47	事務	交通費、退職金、ボーナスがない
48	事務	昇給がない。
48	事務	中小企業で給与が低い。就業規則をもらえないので、正当な賃金なのかわからない
47	生産・修理	有給があるのに使えない。昇給、賞与、退職金が無い
55	事務	有休が取りにくい
60	医療・介護・福祉	給料が安い
52	IT・情報通信	同じ仕事のひとと時給が1000円低い。ボーナスもない。
54	医療・介護・福祉	固定給ではなく、雇用保険もない
43	医療・介護・福祉	みなし残業あり、同じ職種というだけで自分の方が多く仕事をしているのに給与が同じ人があるから
52	事務	賃金が見合っていない
59	事務	定年が60歳だが再雇用されると賃金が激減する
52	事務	ダブルワークが禁止
62	教育	給与が減ったが、仕事が増えているから

### 〈パートタイム勤務〉

年齢	業種	やや不満・不満の理由
48	医療・介護・福祉	時給が仕事内容とあわない。
53	事務	有給休暇、昇給、がない
49	事務	有給休暇が使えない
59	事務	時給が上がらない
51	事務	始業時間前から仕事をはじめて、昼の休憩時間も削り、就業時間を過ぎて残務整理に追われても残業代は一切計上されないこと。契約書通りに労働保険に加入してもらえない。
54	教育	収入が少ない 自分の意見を述べる場所がない
62	事務	仕事の量に対して、対価が少ない
56	写真スタジオ	昇給評価がフルタイムで働かないとできないような項目があり、どんなに頑張っても昇給の対象にならないため、何年も同じ時給で向上心が起こらない。
51	物流・配送・軽作業	賃金が少ない事です。
59	事務	なんでもやらせてもらえるが、全く昇給がない。
45	販売	最低時給のみ。年末年始も同じ時給
41	飲食・フード	休みづらい。時給が上がらない。
53	事務	サービス残業がある
48	医療・介護・福祉	時給が安い。
61	事務	何年勤めても昇給がないし、仕事をしない上司の尻拭いをさせられるから。
53	物流・配送・軽作業	新しく入ってくるパートさんと時給が同じなのは、やや不満です。同じ時間の仕事のこなし方が違うので時給に差をつけて欲しいです。
51	事務	報酬が少ない
57	物流・配送・軽作業	もう少し時給が上がればうれしいです。
38	事務	勤務時間を過ぎてても残業代が出ない
52	事務	仕事の重責のわりに賃金がやすい。有休も消化できない。
61	教育	経営状態により雇用日や雇用時間が変わる。
51	物流・配送・軽作業	有給の取得がないことと、平日と土日祝日出勤の時給が同じこと。
54	販売	交通費に制限がある
58	医療・介護・福祉	昇給は少ない、賞与もない。
50	販売	賃金がアップしない

## Q. 「職場環境」についての満足度／やや不満・不満の理由（自営・フリーランスを除く）

「職場環境」については、84.1%が、満足・まあ、満足。フルタイム勤務者の「やや、不満」がパートタイム勤務者を10ポイント近く上回っている。



### 〈フルタイム勤務〉

年齢	業種	やや不満・不満の理由
47	生産・修理	室内温度が一定でない
43	医療・介護・福祉	パワハラが時々ひどい
52	事務	建物が古くて汚い

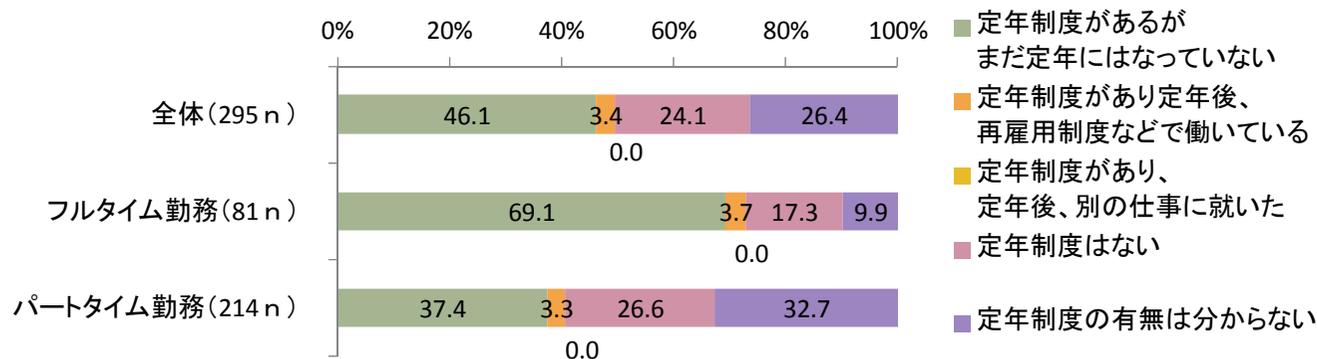
### 〈パートタイム勤務〉

年齢	業種	やや不満・不満の理由
38	医療・介護・福祉	とにかく人間関係が悪く、離職者が後を絶たず、採用されても、すぐに辞められるので、人が育たない。
53	医療・介護・福祉	人数が多いので、ロッカーや着替える場所が満足にない。
41	飲食・フード	やる気のない人が多い。
54	販売	時間が不規則 サービス労働がある
53	事務	職場が禁煙ではない。ワンマン社長
38	販売	人間関係での悩み
51	事務	上司がわからずや
38	事務	社員が意地悪、机がせまい
46	教育	通勤時間がかかる
52	事務	休憩がとりにくい
61	教育	パートが自分一人なので緊急に休みにくい。
58	医療・介護・福祉	人員不足、仕事柄生命の危険もあり得るのでもう少し職員を増やしてほしい。
49	事務	上司にあたる人が、正社員にパワハラ紛いなことをしているのを目の前で見ないといけない時がある
51	事務	建物老朽化でトイレはしょっちゅうつまり、洗面台もないので身だしなみを整えることすらできない。

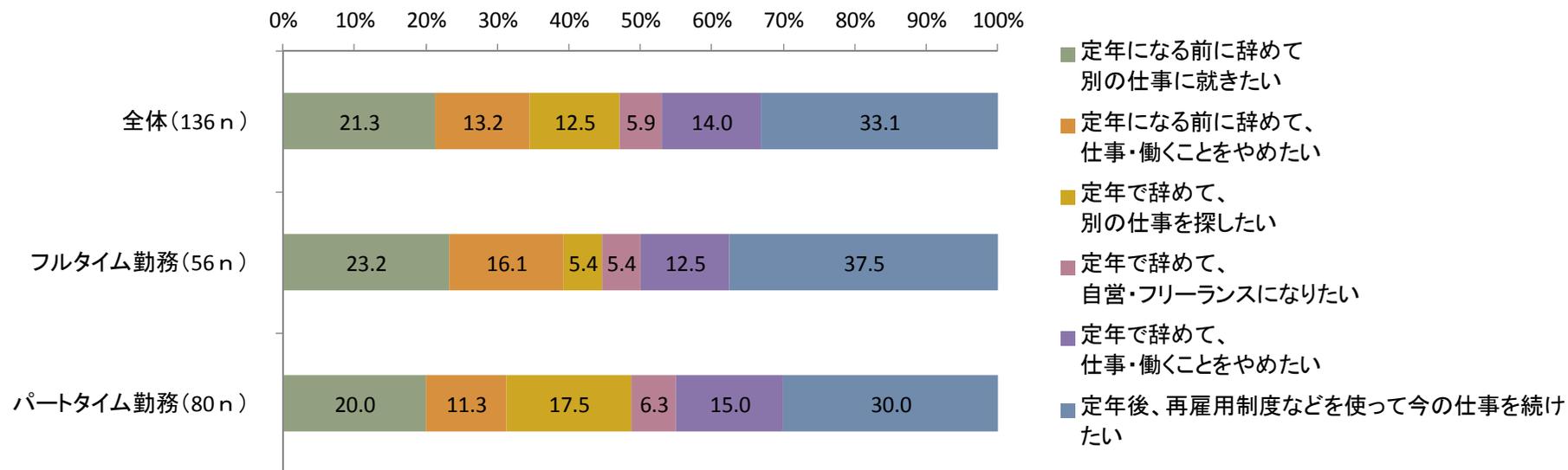
## Q. 現在の仕事の定年制度

定年制度について聞いたところ、パートタイム勤務者の1/3近くが「制度の有無は分からない」と回答。

定年前の人の33.1%（フルタイム勤務者は37.5%）が、「定年後、再雇用制度を使って今の仕事を続けたい」。定年前、あるいは定年で仕事・働くことをやめたいは27.2%。7割以上が、定年後も何らかの形で働きたいと考えている。



## Q. 現在の仕事に定年制度があるが、まだ、定年前の人に。定年についての考え方



Q.なんらかの形で定年後も仕事を続けたい人に  
定年後も働き続けるために準備していることはありますか？（FA抜粋）

年齢	定年後も働き続けるために準備していること
36	アンチエイジングアドバイザーの資格を取得した。
40	副業もやり、フリーでも働ける力をつけるよう勉強をしている
41	資格をもちいてフリーランスで働きたい。
42	求人を探している
43	勉強をしている
43	資格を取る
44	健康でいること。人脈を絶たないようにしている。
44	ないけれど、趣味でいろいろな分野にふれている
46	同じ職種で別のところへかけもちで働き始めた。
48	健康でいること
48	貯金
48	転職も視野に入れ、保育士の資格を取得した。ぜったい無くならない職業なので。
49	保育士の特例制度の期間に幼稚園教諭二種を取るために勉強する。体力を維持するために運動をする。
49	副業をしていることや、資格を取得していること。また、本や情報を集めている。
50	健康でいられるように、体調を万全にしたいです。
52	体に十分気を付ける。支社内にはパートはひとりなので「〇〇さんがいないと困る」と思ってもらえるように仕事を頑張り、社員との人間関係も良好である。

年齢	定年後も働き続けるために準備していること
52	資格を取っている
52	自分みがき 英語の勉強や身体を鍛えるなど、何処へ出て来ても恥ずかしくないようにしている
52	野菜ソムリエなどの資格を取っている。
52	健康寿命じゃないけど、健康でいるために適度な運動やサプリメントをとっている。
52	健康第一だから体に気を付けて働き続けられる体を維持できるように食事等に気を使っている。定年後にできる仕事はどんなものがあるか、時々、求人誌やサイトを見るようにしている。
53	健康に留意する事くらいです
53	毎年検診を受けて健康管理をすること
54	資格の取得
55	体力健康維持
55	教員免許の更新講習をうけている。
56	スキルを磨く
56	健康であるために、適度な運動をして食生活に気を付けている。
56	自分で仕事を始めるために、いろいろと勉強しています。
56	資格取得
56	情報収集中
57	特にないが、体力維持と向上。
59	スキルを磨く
62	色々な資格を取得しています。
62	これから何か身に着けようと考えている
63	体を壊さないよう、物事、前向きに考える
67	とにかく健康です

## Q. 何歳まで働きたいか

何歳まで働きたいかは、「65歳まで」が30.2%とトップだが、「70歳まで」も25.9%と1/4を超える。  
 特に、パートタイム勤務者は26.6%、自営・フリーランスは31.9%と多くっており、希望就労年齢は上がっている。  
 年代別では、全般的に年代があがるにつれ希望就労年齢は上がっていくが、45～49歳だけ、その動きに逆行する傾向。体調の変化、疲れを感じやすくなるなど、ゆらいでいる世代の特徴か。

